

独立社外取締役スモールミーティング 質疑応答要旨

(2022年10月18日)

◆ 質問者：投資家 A 氏

Q1	<p>独立社外取締役も「株主価値最大化 (MSV)」の責任を担い、その報酬には株式報酬が含まれ、独自の牽制機能を持つなど、他社の独立社外取締役とは役割や責任が異なると認識した。独立社外取締役としての役割、特に監査委員会での役割は何か？また、新任以外の独立社外取締役 6 名それぞれに期待する分野や役割分担の詳細について伺いたい。</p>
A1	<p>取締役 11 名のうち独立社外取締役は 8 名、うち 6 名が前年からの再任であり、2022 年 3 月の株主総会において新たにカービー氏とリム氏の 2 名が独立社外取締役に選任されました。</p> <p>現在、新任 2 名は当社グループに関する情報を収集している期間と考えます。2 名からは新たな視点からの質問や助言も出てきており、2 名の適性を生かす上で当初は委員会に所属しないとしたことは正しい判断でありました。</p> <p>前年からの再任 6 名のうち、指名委員会は委員長の原氏、諸星氏、ゴー氏、私の 4 名で構成しており、4 名中 3 名が独立社外取締役です。委員長の原氏は指名委員会の役割に注力する一方、諸星氏、ゴー氏、私は他の委員も兼任しています。</p> <p>報酬委員会は委員長を筒井氏が務め、ゴー氏と私は指名委員を兼務しながら報酬委員の役割を担っています。</p> <p>監査委員会は委員長を三橋氏とし、肥塚氏、指名委員でもある諸星氏を加えた 3 名で構成しています。</p> <p>指名委員会、報酬委員会はほぼ毎月実施しており、結果として年 10 回以上の開催となっています。</p> <p>現在は 2023 年度の経営体制を議論しつつ、指名委員会では 2023 年 3 月の株主総会へ向けた取締役候補を審議しており、今年度中にまとめようとしています。カービー氏やリム氏の委員会への参画に関しても、2023 年 3 月の株主総会までに決定する予定です。</p> <p>これに並行して、報酬委員会では、共同社長からの当社グループの主要経営陣である GKP (Global Key Persons) への評価や、GKP からの共同社長に対する声などの情報も手掛かりにしながら共同社長の評価を進め、2023 年度報酬の決定に向けて審議しています。前年度はこの時期に次年度の役員報酬を固めました。今年度は 2 月の通期決算の結果を踏まえて決定すべきとの意見もあります。その場合には、税務上の制約もありますので、報酬内容だけでなく決定時期も含めて慎重に議論しています。</p> <p>監査委員会の活動については、私もオブザーバーとして出席していますが、毎月の委員会開催に加えて、株主総会に向けた議論や海外会計監査人との議論、各パートナー会社の経営陣との協議を実施するほか、Global Audit Committee (GAC) を年 2 回開催するなど、非常に活発で丁寧な活動を進めています。取締役会としてリスクを汲み上げ、掘り下げ、必要な対応を決定する上では、監査委員会の活動が大きく寄与しています。</p>

◆ 質問者：投資家 B 氏

Q1	大株主がウットラムグループであることで、塗料業界により精通できるなどの利点もあるかと思うが、大株主として大きな力を持つことによる潜在的な利益相反や意志決定の歪みなど、懸念事項は存在しないのか？
A1	<p>取締役会、指名委員会、報酬委員会へのウットラムグループの代表であるゴー氏の参画は、独立社外取締役が過半数を占める取締役会や委員会での決定事項が後々に覆るような事態を懸念する必要がなく、利点こそあれ、マイナスは見当たりません。</p> <p>ゴー氏は上場企業の運営、特に日本の上場企業の運営に十分精通していない面もあり、ゴー氏と意見が割れる場合もあります。上場企業としての運営に対する株式市場からの視点においては、独立社外取締役の意見に集約されることも間々あります。</p> <p>他社も同様かも知れませんが、当社 11 名の取締役は非常に個性的な経歴と考え方を持っており、取締役会としての結論を導き出すためには、全員での十分な議論が求められます。議長としての私の役割は、各取締役の能力を最大限に引き出し最適な結論に導くことであり、日々議論の充実に努めています。</p> <p>また、今後も当社が成長していくためには、投資家の皆様との信頼関係は必要不可欠ですし、ゴー氏も投資家の皆様の基盤拡大には非常に積極的です。ウットラムグループだけの利益の追求に終始し、少数株主の利益を優先しない姿勢であれば、当社の成長は実現不可能です。この場合、市場の信頼は損なわれ、ウットラムグループが保有する約 6 割の株式価値は下落しかねないことをゴー氏はよく理解しています。</p> <p>当社は MSV に向け、資産を健全に維持する使命のもとで会社運営を実施しています。当社は株主が存在する会社として、投資家の皆様の持つ懸念点に対して今後も丁寧に説明するとともに、皆様に安心感を持っていただけるよう情報発信を行ってまいります。</p>

時間の都合上、事前のご質問に関して当日お答えできなかった詳細については、別途ウェブサイトにて順次ご回答いたしますので、そちらをご覧ください。

以 上